

冬号

# おおた文化の森

「森を、育もう」

NEW

情報誌Webサイト「おおた文化の森」リニューアル冬号です。今号から季刊となり、季節に合わせた各種コラムやイベントをお届けいたします。皆様からのご意見などもお待ちしております。こちらまでお寄せ下さい。[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com) また[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)もご覧下さい。

特集

## 3月10日 文化の『たねまき祭』迫る ～世代をつなぐ幸せづくり～

収穫祭も終了して、次のビッグイベントの「たねまき祭」の番が来ます。このイベントの目的は区民に対する報告と、文化プレーヤーの発表の場です。「展示コーナー」と「多目的室でのセレモニーとシンポジウム・交流会」・「06年度の文化のたねまき祭報告書」で構成されます。今回は「セレモニーとシンポジウム」は各実行委員会・運協の発表の後、テーマを決めて同じメンバーでの話し合い、参加者との質疑応答等を企画しています。中央にパネラーが座り、周りを参加者が囲む形でより一体感を感じたいと思います。プロジェクター・書画カメラを使い、新しい「たねまき祭」にします。



昨年の交流会風景

報告書は今年度の報告と来年度の展望で作られます。展示コーナーは各実行委員会運営協議会のパネル展示で、1週間おこなわれます。オープン以来6年目・2期目の最終年を迎えて、新しい未来をつくる「たねまき祭」です。皆さんの参加がそれを創ります。大田文化の森は自分たちの森になります。新しい活動と一緒に創り体感し、次年度への希望を語り合いませんか！

読み応えのあるコラムが自慢！

### 元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会委員の志

### 「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は染谷昇さんです。

### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は異文化交流実行陰火委です。

### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化筆サークル「筆曲桜の会」をご紹介します。

### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。

### 第3回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

### 大田の顔 キラリ

木彫り一筋58年、現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。

**我に一芸あり**  
ユニークな学校を紹介するこのコーナー、今月は蒲田女子高校をご紹介します。授業に保育実習があるんですよ。

**特集**

**文化の「収穫祭」終わる  
～文化の出会い 広がる輪～**



収穫祭の文字カードを掲げてチアする東京高校チアリーディング部のみなさん

**文化の森イベントスケジュール**

イベント情報  
**文化の森 個でもあり**

寒い冬だからこそ外に出ていろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

**文化の森について アクセス&MAP**

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

**申し込み・問合せ先**

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770  
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

■受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
[大田文化の森運営協議会Webサイト](http://www.bunkanomori.com)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

今年の「収穫祭」は、11月3日と4日の二日間にわたって開催されました。幸い天候にも恵まれて、参加者、ご来場のみなさんのご協力により大きなトラブルもなく、無事に終わることができました。今年は、二日間開催のほかにも種々新しい試みがなされ、みなさん、それぞれにそれなりに、お楽しみいただけたのではと思っています。

終わってみれば、いろいろと反省点もありますが、今回多くの回答をいただいた当日実施のアンケートと去る15日開催の実行委員会での結果検証の内容を踏まえて、来る3月の「たねまき祭」にて総括したいと考えています。

さて、来年度の即ち07収穫祭の実行委員会が4月から円滑に機能するためには、出来るだけ早めの準備が必要だと思えます。

収穫祭は、運営協議会主催の直接企画事業ですから、各年度の実行委員会を組織するのは当然運営協議会の仕事だとは思いますが、文化プレーヤーの中から、自発的にやる気のある委員、委員長が出てくることが望ましいと思えます。

我と思わん方は、是非、運営協議会に申出てください。大変ですが、やってみればいろいろ勉強になるし、楽しいこともあります。

なにはともあれ来年度の収穫祭が、さらに発展するようお祈り申し上げます。



5階多目的室のショップのにぎわい

文化プレーヤー(収穫祭実行委員長) 栗原 勝彦

# おおた文化の森



## 元気印 文化プレーヤー

### 「森のアート」おじいちゃん、おばあちゃんいらっしやい!

江戸の文化に親しもう～入新井第二小学校6年生との交流～

「他に何があってもこちらへ参加することを第一にしています。毎日楽しくて、そしてここだけでお会いするよいお友達もできましたし、元気をいただいております」  
 参加者のこのようなお声に支えられて、文化の森オープン時より5年間継続している「森のアート」です。  
 誰でも楽しめるプロジェクトの中のシニア向け企画で、最高齢92歳、平均年齢70歳のお元気な方々ですが、中には車椅子での参加者もおられます。  
 昨年に引き続き、核家族化された日本の現状を考え、世代間交流を目的に11月11日(水)入新井第二小学校6年1組・2組67名の児童たちと「江戸紋切り」の制作を致しました。  
 すでに、一度江戸紋切りを習得されたシニアの方は、本当の孫との対話のように楽しみながら、とても和やかな光景が繰り広げられました。



江戸紋切り、上手にできたかな?

ちょうど、6年生は江戸文化の勉強中で、(株)エクスプランテの下中菜穂さんのご指導で、日本古来の紋切りが外国の本によって知らされたことを知り、また庶民の身近な遊びであった江戸紋切りの古文書を見せていただき、紋切りの由来や図形になった元の品物を皆で考え、楽しく進行されました。時には失敗したかなとドキッとしても、またこれも新しい美を生むというフレキシブルな対応をされ、ほっとした場面もありました。

「この思い出は一生忘れられない」という声が児童たちから上がり、私たちはどんなにか感動したことでしょう。  
 シニアからも“年一度といわず、度々こんな機会があったらいいですね”という声も聞きました。  
 現在社会問題になっていることも、世代間交流により少しでもお役に立つことができればと、関係者一同話し合ったものです。  
 文化の森が異なるゼネレーションや文化の継承の場として、今後も大きく発展するものと思います。  
 学校側に絶大なるご協力をいただき、深く感謝申し上げます。  
 今回の作品と感想文が学校の教室・廊下に展示されており、その中から6年2組の児童の感想文を掲載させていただきます。

文化プレーヤー 西井 和

「江戸紋切り」に挑戦

### 特集

3月10日 文化の「たねまき祭」迫る  
～世代をつなぐ幸せづくり～

文化の「収穫祭」終わる  
～文化の出会い 広がる輪～

### 読み応えのあるコラムが自慢!

## 元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は柴谷昇さんです。

## 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は異文化交流実行陸火委です。

## 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化筆サークル「筆曲桜の会」をご紹介します。

## ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。

## 第3回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 大田の顔 キラリ

木彫り一筋58年、現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。

## 我に一芸あり

私は紋切りを体験する前、紋切りとはどうやってやるんだろう？と、ずっと考えていました。文化の森に入ってわたされたのは、色紙と何やら模様がついた紙でした。その時私は、こんなものを使って何をつくるんだらうと不安でしたが、やっていくうちにコツがつかめてどんどん上達していきました。いっしょに紋切りを行ってくださったみなさんとも話ができていい体験になりました。最後に「もう、片付けてください。」といわれても、もっとやりたいと思って自然と手がうごいてしまうほど夢中になった紋切り。今後にぜひ生かしたいです。

(入新井第二小学校6年2組 児童)

## 「文化プレイヤーの集い」に参加して

11月25日(土)、私たちの和と輪を結び、繋ぎ、広げる「第2回文化プレイヤーの集い」が催された。

去る6月10日に第1回の「文化プレイヤーの集い」が運営協議会によって実施された。この「集い」は文化プレイヤーと運営協議会委員と事務局スタッフが、お互いの役割と、その立場を理解し、語りあい、意見を交わす場として、よりよい新たなステップを求めて開かれた。第2回の開催日時が決まると運営協議会スタッフとサポートチームによって、この「集い」の構成・テーマ・進め方等々に具体的な検討が急ピッチで加えられた。結局は前回寄せられた提案や意見や、その反省に立って「運営協議会ならではの企画とは」「文化プレイヤーの集い」の方向性は」の2つのテーマを選び「ワークショップ」を中心に、「集い」を進めることになった。

それぞれの役割も決まった。設営・受付・司会・進行・ファシリテーション・記録等が運営協議会スタッフとサポートチームに割り振られた。

この準備に関わった方々の普段の働きと、コーディネーションの苦労、あるいは担当された方々の繊細な気配りに、私はボランティア活動そのものを感じさせられた。

催しは、運営協議会の概況説明・ワークショップ・懇親会の順に進められ、楽しい雰囲気づくりもあってか、和気あいに語り合う場がそこにでき、また、輪が広がった。

この「集い」の様子は、サポートチームの担当の方々の編集作業によって毎月発行されている「文化プレイヤー通信」に掲載される予定である。とにかく良い「はたらき」が、そこにあった。私もこのプロセスで「文化の森」の課題のいくつかを学ぶことができた。

この「集い」の成果の集約や、アンケートの整理などが、サポートチームの中ですで行われている。

「ワークショップ」のテーマが抽象的で戸惑いもあったようだ。また、時間が足りなかったという指摘もあった。多くの課題が示された。世代間を埋める交流、地域社会への貢献を目的とする新しい企画。教養・芸術・娯楽・趣味等多様多岐に亘る事業。文化プレイヤーのあり方や、企画構成あるいは運用に関わる多くの提言、さらには将来への期待など掲げられ、語られた。熱心で真摯な話し合いの中で、何かしら「文化の森」の使命のようなものを感じさせられた。

私も感想を述べた、「継続は力なり」。この成果が活かされてゆくことが肝要だ。



ワークショップ風景

文化プレイヤー 松浦 克巳

ユニークな学校を紹介するこのコーナー、今月は蒲田女子高校をご紹介します。授業に保育実習があるんですよ。

## 文化の森イベントスケジュール

イベント情報  
文化の森 側でもあり

寒い冬だからそ外に出ていろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

## 申し込み・問合せ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770  
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

■受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail: [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
[大田文化の森運営協議会Webサイト](http://www.bunkanomori.com)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

# おおた文化の森

## 運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

染谷 昇

「私の」文化の森。運営協議会委員として、初めて委嘱を受けてから今年で6年目になります(2期の最終年)。長いような、短いような？感じます。今、私は文化の森での活動の意味をこの様に捉えています。

#### ○ 現代社会の変化の中に身を置き参加できること！

1937年生まれで、明治維新にも、敗戦の混乱にも、バブルの時代にも参加できなかった自分が、最後のチャンスとして文化の森で[社会の变革]を当事者として体感・参加することを喜びとして感じています。大きな意味として「行政と市民の協働」というテーマは私にとって、ビッグチャンスな訳なんです！今まで「お上」がやってきたことを市民が手にしつつある流れを、現場で参加できるのは本当に面白いですね。

#### ○ 全員参加型のプロジェクトが出来ること！

始めは、私も自分の企画という形で、活動していたんです。ところが、いろいろな経過の中で「区民の文化活動」という立場に考えが変化していきました。大田文化の森運営協議会としてのありかたで、強く感じているのは「全員参加型のプロジェクト」のもつ大きな可能性です。新しい形の活動が生まれ、周囲に伝わっていけば地域の活性化にもつながり、この活動の意義が作れると思います。

この「6年間」は私の人生の中で非常に大きな価値のある時間になってきています。(私の全人生の1/9近くの時間です)私はここに参加することで生き方が違ってきました。大田文化の森は新しい生き方の形を作っていける処と信じています。

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです

## 実行委員会いきいき

～発信し主張し実行する～「実行委員会いきいき」シリーズ

実行委員会は文化の森活動の「血管」です。文化プレーヤーは「細胞」です。文化の森の活動は、独演や独奏だけでは成り立ちません。個々の文化プレーヤーが集まり、企画し、実行し、運営するための組織が実行委員会です。実行委員会は、若くて新しい血液が脈々と流れ、文化の森活動をいきいきとさせる血管です。実行委員会の意気込みと主張と成果を、いきいきと発信いたします。

(編集部)

### 「まちづくり」=「人づくり」 ～地域の活性化、楽しく心豊かな暮らしを創造～

まちづくりプロジェクト実行委員会は、環境、コミュニティ、衣・食・住の暮らし、健康、セキュリティ、文学、芸能、園芸など社会、経済、文化等に関する「まちづくり」に繋がる様々な企画を取り上げ、地域の活性化を目指しています。毎月1回第1木曜日に開催される定例実行委員会では、「まちづくり」に繋がるさまざまな企画を提案し、活発な意見交換をして、総意を得て実施に踏み切っています。

現在、9名の実行委員が活動を続けて

## 特集

3月10日 文化の「たねまき祭」迫る  
～世代をつなぐ幸せづくり～

文化の「収穫祭」終わる  
～文化の出会い 広がる輪～

## 読み応えのあるコラムが自慢！

### 元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

## 運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は染谷昇さんです。

### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は異文化交流実行陸火委です。

### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化箏サークル「箏曲桜の会」をご紹介します。

### ここに花あり

おおた  
花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。

### 第3回 フォレストメーツ

チクリ  
一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

### 大田の顔

木彫り一筋58年。現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。

### 我に一芸あり

います。その中で、グループとしての活動は、「ガーデニング委員会」「馬込文士村継承会」「未来につなぐ大田まちづくりの会“まち井”」「落語会」「大森まちづくりカフェ」があり、その他は個人として活動を展開しています。特に「大森まちづくりカフェ」は、2002年の運営協議会主催「第1回まちづくりコーディネーター養成講座」がきっかけとなり、その受講者が中心となって結成されたグループで、大森周辺地域の活性化に積極的に取り組んでいます。



実行委員会風景

次年度は、委員間の横のつながりをより一層密にして、まちづくりP実行委員会全体として、地域の活性化を目指した一大イベントを企画する予定です。今後も「まちづくり」=「ひとづくり」に繋がる企画を区民の視点に立って考え区民と共に歩んでいきたいと思っています。皆さん、まちづくりP実行委員会に参画してみませんか、皆さんの斬新なアイデアをお待ちしています。一緒に「まちづくり」に取り組んでいきましょう。“美しい”、“心豊かな”、“潤いのある”、“誰にでも暮らしやすい”「まちづくり」に取り組んでいきましょう。

文化プレーヤー(まちづくり実行委員長) 宗 正雄

1月～3月 運営協議会【会議】スケジュール  
※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

- 文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00<第2集会室>  
1月19日、2月2日・16日、3月2日・16日 \*文化会議は、運営協議会 の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。
- 役員会(文化会議のある週の火曜日)13:30～15:00<講師控室>  
1月16日・30日、2月13日・27日、3月13日
- 実行委員会
  - 芸術事業プロジェクト<第4金曜日19:00～21:00>  
1月26日、2月23日、3月23日
  - 誰でも楽しめるプロジェクト<第1月曜日19:00～21:00>  
1月15日、2月5日、3月5日
  - 子ども・若者たちのプロジェクト<第2金曜日13:30～15:30>  
1月12日、2月9日、3月9日
  - まちづくりプロジェクト<第1木曜日10:00～12:00>  
1月11日、2月1日、3月1日
  - 異文化交流プロジェクト<第3木曜日18:30～20:30>  
1月18日、2月15日、3月15日
  - サロン交流会プロジェクト<火曜日19:00～21:00>  
1月9日、2月27日、3月13日
  - 収穫祭プロジェクト 2月21日、3月28日<火曜日19:00～21:00>
  - たねまき祭プロジェクト 1月25日<火曜日13:00～15:00>  
2月22日<火曜日10:00～12:00>

ユニークな学校を紹介するこのコーナー、今月は蒲田女子高校をご紹介します。授業に保育実習があるんですよ。

## 文化の森イベントスケジュール

イベント情報  
**文化の森 側でもあり**

寒い冬だからこそ外に出ているいろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

**文化の森について アクセス&MAP**

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

## 申し込み・問合せ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770  
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

■受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
[大田文化の森運営協議会Webサイト](http://www.bunkanomori.com)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

# おおた文化の森

## 文化の森育ち

文化の森は世界の森

木は森を育て、森は木を育てます。  
 文化の森がスタートして5年以上、何百の企画が実行されています。  
 文化の森は大田区民文化のベースキャンプです。  
 文化の森という場を、一つの接点として生まれ、かつ、育ったグループや仲間の活動をご紹介します。  
 文化の森が、足がかりの一つとして、広く利用され、次々と何処かで第二第三の文化の森ワールドが展開されていくことを期待します。(編集部)



急速に高齢化社会が進んでいる今日、お年寄りに落語を通してお笑いを提供し地域の活性化を図ることを目的に地元町内会及び商店街の皆様のご協力をいただき、平成16年夏から運営協議会主催事業として「季節寄席」(夏・秋・冬・春)を年4回開催しております。18年12月「季節寄席」(冬)で11回目となりました。  
 気軽においでいただけるようチケット代を前売500円、当日700円に設定し、「500円玉で落語を楽しもう」をキャッチフレーズに活動しております。

地元、中央3丁目在住の若手落語家「春風亭朝之助(二つ目)」を中心に「前座」の落語家を加え開催しております。大変好評で毎回チケットも完売し、200人前後のご来場者があり、楽しんでいただいております。過日のアンケートによると来場者の90%は大田区在住の方で、75%は50歳以上の方です。また複数回おいでいただいている方は50%ありました。これらは、当初の目的に近づいていると思います。



朝之助の熱演

お客様からは「こんな近いところで、安い入場料で、気軽にこられるのがいい」「近所にこんな雰囲気のある寄席があるのがうれしい」「初めて来ましたが、また来たくまりました」などと喜ばれています。17年3月「季節寄席(春)」からは、落語だけでなく「曲独楽」「粹曲」「太神楽」「マジック」「講談」などの芸人をゲストに迎え、ますます充実させております。もう一つの目標である若手落語家を育てていくということについても、「春風亭朝之助」が地元の応援により大人気です。地元在住だけに地域に密着した「まくら話」から爆笑の連続です。ご来場者によりますと、落語が益々上手になっているとのこと。日々の努力が認められ今年3月下席より「真打ち」に昇進し「6代目春風亭柳朝」を襲名することが決まっております。

19年度も「春風亭柳朝」を中心に開催予定ですが、地元在住の若手落語家をもり立て、「季節寄席」の看板になれるよう支援していきます。「笑いは健康の源」をスローガンに大田文化の森がその発信元になります。

日ごろのご愛顧に感謝するとともに更に充実させて、お客様に喜ばれる「季節寄席」にするために努力いたします。

### 特集

3月10日 文化の「たねまき祭」迫る  
 ~世代をつなぐ幸せづくり~

文化の「収穫祭」終わる  
 ~文化の出会い 広がる輪~

### 読み応えのあるコラムが自慢!

#### 元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会委員の志

#### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は柴谷昇さんです。

#### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は異文化交流実行陸火委です。

#### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化箏サークル「箏曲桜の会」をご紹介します。

#### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。

#### 第3回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

#### 大田の顔 木工一筆

木彫り一筋58年、現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。

#### 我に一芸あり

## 水墨画サークル 「竹翠会」

私達は、平成16年度の公募企画“水墨南画”から生まれたサークルです。全く初めて絵筆を持ってから、1年半が過ぎました。この間、基本の蘭・竹・梅・菊を墨絵で描くことからスタートし、四季の草花や実物に色を加えて表現するようにもなりました。初めは無我夢中、筆が思うように動かなかったのが、近頃少しは運筆がさまになってきました。色紙に又は葉書に、親しい方達に自分が描いた絵を添えての便りなど描く事の楽しさと喜びも知りました。

活動日は、毎月第2・4火曜日9時半から、集会室または美術室にて行っています。実施の稽古日が巡ってくる事の早いこと、充実したひとときを持てる事が何より嬉しく、これからは花鳥に留まらず、山水画にと希望を膨らませつつ、併せて何事も続ける努力の大切さを日々思うこの頃です。私たちと一緒に水墨画を楽しんでみませんか。1月10日(水)～22日(月)4階廊下ギャラリーにて



問い合わせ: 山田竹夢 3763-2986

## 文化箏サークル 「箏曲桜の会」

私の大好きな小さなお箏「文化箏」を地域の方々に知って欲しいと、常々思っていました。その方法がわかりませんでした。そんな時、この公募企画を知り、これならできるかもしれないと思い参加させていただきました。

企画申し込みから講座開講まで初めての経験ばかりでしたが、運営協議会の方々のきめ細かいサポートをいただき、2005年11月から2006年1月までの全5回10名の受講生を迎えて開講致しました。頼りない私を受講生の方々に温かく支えて頂きながら「お正月には自宅でお箏」を目標に、毎回あっという間に1時間半が過ぎていきました。そんな4回目の講座終了後サロン交流会のミニコンサートに出させていただきました。するとメンバーから「合奏のすばらしさを実感し、これでやめてはもったいない！」との声が聞かれ、現在はサークル活動として毎月第2・4水曜日の午前10時半から集会室又は和室で行っています。ぜひみなさんも一緒に楽しんでみませんか。



問い合わせ: 杉山理香 5748-1975

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 例でもあり

寒い冬だからこそ外に出ているいろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

### 申し込み・問合せ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

■受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

### 大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail: [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
[大田文化の森運営協議会Webサイト](http://www.bunkanomori.com)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

# おおた文化の森



巨大なガーデンや立派な花畑でなくてもよい。街を往くとき、ふっと思いが浮かんだり、はつと気がつくスポットが沢山あるはず。そこに花があれば楽しめばよい。なければ植える方法がないか考え実行できるかもしれない。こんなスポットが百景もできれば、街が華やき、人々が甦る。一昔前、群馬の市民楽団が草の根から成長して「ここに泉あり」と評されたことがあった。このシリーズは、区民の皆様の推薦スポット。ご連絡を歓迎します。(編集部)

## 「入新井公園の花壇にも花を！」

JR大森東口のバスターミナルから徒歩5～6分のところに入新井公園がある。この公園は、幾つかのマンションに囲まれた中にあり、公園に植えられている樹木も大きく繁り、夏は木陰に涼みに来る地域の住民も多い。



公園の道路に面した中央付近には、お地蔵様が建てられている。さきの戦争で多くの人々が空襲で犠牲になり、その場所に慰霊碑を建てたと聞いている。そこには、毎日のように地域の方がお花を捧げお参りに来ている。また、高齢者の方がラジカセを持ち込んで、朝のラジオ体操をしている光景を、散歩の途中で見かけることがある。

しかし夜遅くなると、ベンチで一夜を過ごすホームレスも多く、ベンチの周り

は、朝になると食べ残しのゴミが散乱していることが多い。そして、この公園の花壇には、花一輪咲くことなく、草が生い茂ったままの状態にある。

一方、JR大森駅東口前の公園にある花壇や道路に面した一部の花壇は、現在、NPO法人「大田・花とみどりのまちづくり」が管理しており、土おこしから、花の植え替え、水遣り、花柄摘みまでのすべてを、会員がボランティアで週2回、火曜日と土曜日に2時間かけて行っている。こちらの花壇は、四季を通して花が咲いていない時はほとんどない。

### 特集

3月10日 文化の「たねまき祭」迫る  
～世代をつなぐ幸せづくり～

文化の「収穫祭」終わる  
～文化の出会い 広がる輪～

### 読み応えのあるコラムが自慢!



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会委員の志



文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は染谷昇さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は異文化交流実行陰火委です。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化箏サークル「箏曲桜の会」をご紹介します。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



木彫り一筋58年、現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。



また、「大田文化の森」では、ガーデニング委員がボランティアで、館の周りにプランターを置き、花を植え管理をしている。文化の森に訪れた方々が、ほっとする安らぎの場になるようにとの思いからである。今のところメンバーは12名程ではあるが、花の手入れは自分たちも楽しみながら一日として怠ったことはない。

ぜひ、この入新井公園にも花を咲かせ、誰もが憩うことのできる公園になるようにと、心から願うものである。

さらには、限られた場所だけでなく、地域ぐるみで花を育てることができるならば、もっと素晴らしいことだろう。

一歩外に出れば、花を楽しむことができ、お互いが花を見ることで和むことができる、私は、そんな地域を目指して行きたいと思う。[→周辺地図はこちら](#)

文化プレーヤー 北岡 三子



ユニークな学校を紹介するこのコーナー、今月は蒲田女子高校をご紹介します。授業に保育実習があるんですよ。

## 文化の森イベントスケジュール

イベント情報  
**文化の森 側でもあり**

寒い冬だからこそ外に出ているいろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

**文化の森について アクセス&MAP**

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

## 申し込み・問合せ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

■受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

## 第3回 フォレストメーツ チクリ一筆



“町の文化をはぐくむ共同体として”

金曜日の帰り道、子どもたちが「明日、文化の森でね」と約束しています。調べ学習で使っている図鑑は「文化の森で借りました」と紹介されます。多様な施設を利用して、高齢者の方に「江戸紋切り」という伝統の技を習ったり、料理を作りながら健康づくりを考えたり、和室でしっとりと茶道を学んだりもしています。学校とはちがったおしゃレで、アカデミックな香りのする「大田文化の森」は、子どもたちの学び場や自由時間の居場所として、その生活にとけ込んでいます。さらに一歩進めて、例えば情報館で、図書室のマナーや利用の仕方など、職員の方に指導して

いただくプランなどができたら、とてもうれしいなと思います。

大田区立入新井第二小学校校長 白木 葉子

大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

# おおた文化の森

## 大田の顔 キラリ

文化の森は世界の森

「キラリ」と「ギラリ」

世界中ただ一つしかない、私たちの、この街には、日頃気がつかないけれども、大事なことを訴える人やグループや企業が存在するはずで。

決して派手にもはやされたり、ぎらぎらみせつけるものではなく、大切なことを教えてくれる技能や技術や行いをシリーズで紹介していきたいと思います。「ギラリ」ではなく「キラリ」なのです。投稿や提案を歓迎します。

(編集部)

### 木彫一筋58年“匠の技” 現代の名工 木彫刻師 塚原忠雄さん

東雪谷2丁目のわりと閑静な住宅街の一角に「トン、トン」とリズムカルに響き渡るノミの音、そこに塚原忠雄さん(雅号 桂昌)の工房、塚原彫匠所がある。

58年木彫一筋に励み、木彫技能の奥義を極め、社寺仏閣の建築彫刻や重要文化財の復元などを数多く手がけ、また洋風彫刻にも広く技能を披露している。

昭和8年10月生まれの73歳、中学卒業と同時に父塚原桂月氏(昭和55年勲六等瑞宝章受賞)に師事、後継者として木彫刻のうちでも主として、関東後藤派の正統を継ぎ、現在まで木彫一筋、伝統工芸木彫刻の技能昂揚に尽力されている。

現在までに手がけた社寺は150有余、重要文化財等の復元も20ヶ所に及ぶ。神社仏閣の拝殿・本堂・山門などを飾る獅子頭、龍、花鳥等を手がけ、中でも木彫刻で最も高度な技能が必要とされる欄間の彫刻に卓越した才能を持ち、「日蓮聖人一代記、釈尊一代記、天人、鳳凰、花鳥」などに新機軸を加えた作品も特筆される。

代表作を紹介するには誌面不足だが、香林禅寺(川崎市)の五重塔、建長寺(鎌倉市)の山門、天徳寺(横浜市)の欄間、建長寺(鎌倉市)の仏殿欄間の復元、久遠寺(身延山)の奥の院仁王尊の修復等々、西洋彫刻では国会議事堂の参議院本会議場の議長席および演壇彫刻の修復等がある。

最近では、2年がかりで成田山の開基1070年祭記念事業として建立される総門を飾る隅柱の木鼻獅子(阿吽の3対、合計6体)の大作を製作した。

木彫刻は、各工程に高度な技能が必要とされるため、一人前になるには20年以上もの歳月がかかると言われている。

塚原さんも「父から欄間が彫れるようになったと認められるには、20年かかりました」と言う。現代の名工と言われる塚原さんでも、今も新たな題材を与えられた時には、試行錯誤を繰り返すとか。「木彫刻は奥が深いのです、だから今も修業の途中、ずっと勉強です、一生修行です」と柔らかな物腰で、穏やかに語られたが、いざ製作に取り掛かると、眼が輝き、静かに燃える不屈の闘志が溢れ、まさに木に命を刻み込む姿であった。

平成14年度の卓越した技能工として厚生労働大臣から表彰状を授与された。現在、後継者(三代目ご子息正年氏)を育成中で日本木彫連盟江戸木彫刻の理事長として活躍され



木に命を刻み込む塚原さん

### 特集

3月10日 文化の「たねまき祭」迫る  
～世代をつなぐ幸せづくり～

文化の「収穫祭」終わる  
～文化の出会い 広がる輪～

### 読み応えのあるコラムが自慢!

#### 元紙印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

#### 運営協議会委員の志

#### 「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は染谷昇さんです。

#### 実行委員会いざいざ

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は異文化交流実行陰火委です。

#### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化筆サークル「筆曲桜の会」をご紹介します。

#### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。

#### 第3回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

#### 大田の顔 キラリ

木彫一筋58年、現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。

ている。

区内で塚原さんの作品が見られるのは、金剛院の本堂(新蒲田)、長福寺の長明閣(下丸子)、長慶寺の龍と獅子(東雪谷)、本光寺の日蓮一代記(久が原)、安詳寺の花鳥(久が原)などがある。

文化プレーヤー 宗 正雄

# 我に一芸あり

「百芸よりも一芸」

「何でも」できることを尊敬する風潮はあります。しかし「何か」ができることを誇りに思い、それがベースとなって全体のレベルが上がるものです。私たちの街には、区内だけではなく東京都にも日本全国にも、世界中に紹介したくなる、そんな「我に一芸ある」学校があちこちに、あるのではないのでしょうか。ユニークな活動や部門を「我に一芸あり」シリーズで取り上げたいと思います。投稿や提案を歓迎いたします。

(編集部)

## 「お姉さん先生」に“変身”

蒲田女子高等学校 ～特色ある5つのクラス～

50歳を過ぎてから保育の専門学校へ入学・・・それは、自立する女性の育成を目指した二代目理事長簡野よし氏の、幼稚園設立のための進学だった。

蒲田女子高等学校は、そんなエネルギーな女性によって支えられてきた。デザインクラス・社会福祉クラス・幼児教育クラス・スポーツクラス・生活文化クラス、と言った特色ある5つのクラス(敢えて“コース”とは言わないのだそうだ)を設け、生徒達の個性を伸ばしているが、今回は「幼児教育クラス」にスポットを当ててみた。



この幼児教育クラス、文字通り幼稚園の先生や保育士になりたいという夢を確実に叶えてくれる。特筆すべきは高校1年生次から体験する、授業の一環としての保育実習。同一敷地内に併設されている“ふぞく幼稚園”に赴き、先生方の指導を仰ぎながら「お姉さん先生」に“変身”するのだ。この上ない実践学習である。屈託のない子ども達の笑顔が「お姉さん先生」一人一人の夢を大きく後押ししているように思えた。

そしてもう一つ忘れてはならないのが「児童文化」の学習である。この授業でも教室を飛び出し、やはり併設する蒲田保育専門学校で専任教師の指導を受ける。まさに「高専一貫教育」である。実践学習や専門家の指導で知識と技術を習得し、共に過ごす友人や先生方が心を育んでくれる。そんな彼女達が、素晴らしい保育者にならない訳がない。今日も、中庭を取り囲む各教室で、プロフェッショナルの卵が笑い声をたてているのだろう。

運営委員 山本 直子

**我に一芸あり**

ユニークな学校を紹介するこのコーナー、今月は蒲田女子高校をご紹介します。授業に保育実習があるんですよ。

**文化の森イベントスケジュール**

イベント情報  
**文化の森 佃でもあり**

寒い冬だからこそ外に出ていろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

**文化の森について アクセス&MAP**

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

**申し込み・問合せ先**

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770  
FAX: 03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントの子チケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。
- 受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX 03-3772-0704  
E-mail: [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

# おおた文化の森

## 文化の森 イベント情報 何でもあり

今月も載せきれないくらいイベントが盛りだくさん！  
冬だから閉じこもっていないで外に出て楽しみましょう。  
オススメはもちろん3/10の「文化のたねまき祭」です。  
是非皆様お越し下さい

### 新着イベント情報 (2/25掲載)

#### ■水彩画グループ展 ～水彩画サークル いずみ～

静物や風景を、年齢に関係なく同好者が集い、楽しみながら20数年続いているサークルの初めての作品展。

□開催日時:3月3日(土)から16日(金)＜8日は休館日＞9:00～17:00

□会場:大田文化の森 4階廊下ギャラリー□直接会場へ

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

#### ■季節を彩る押し花アート展

押し花で描くアートの世界を紹介。押し花はすべて自分たちで作って仕上げています。ぜひ一度押し花アートを覗いてみませんか？

□開催日時:4月4日(水)から18日(水)＜12日は休館日＞9:00～17:00

□会場:大田文化の森 4階廊下ギャラリー□直接会場へ

#### ■詩吟教養講座(新詩吟)

岳精流日本吟院の講師による詩吟を通して教養を高める講座。

□開催日時:4月11・25日、5月9・23日、6月13・27日(各水)／13:30～16:30□会場:4階第2集会室□定員:抽選で20名□参加費:6,000円□申込:3月23日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

#### ■二胡で巡る中国の旅

中国各地の音楽を二胡と楊琴で解説を交えて紹介。

□開催日時:5月13日(日)／14:30～16:30□会場:大田文化の森ホール

□チケット:1,000円(未就学児の入場不可)大田文化の森にて3月13日(火)10:00より発売

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

#### ■「トライ!ジョイントコンサート」参加団体募集のお知らせ

9月8日(土)に文化の森ホールで開催される合唱コンサートの参加団体を募集している。

応募条件:区内で活動している20名以内で単独コンサートを開催していない小さな合唱団など。

□定員:抽選で4団体 □参加費:無料 (但しチケットのノルマ1団体50枚を予定)□申込:団体名、参加人数、代表者氏名、住所、電話番号を明記。□締切:4月20日必着□採用の団体は5月より第4火曜日5回程度打合せの予定あり。時間は19:00～21:00応募要項は[こちら](#)をご覧ください。

### 楽しいイベントが一杯! ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

#### ■文化の森サロン交流会

区民の方、文化プレーヤー(ボランティア)の方々の懇親の場、情報交流の場として開催。今回のミニイベントは中国古典楽器二胡によるミニコンサートと、女声合唱団による素敵な歌声をお届けします。申込は不要です。

□開催日時:3月20日(火)19:00～21:00 □会場:5階多目的室

□参加費:500円(当日直接会場へ)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### 特集

3月10日 文化の「たねまき祭」迫る  
～世代をつなぐ幸せづくり～

文化の「収穫祭」終わる  
～文化の出会い 広がる輪～

### 読み応えのあるコラムが自慢!

#### 元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

#### 運営協議会委員の志

#### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は染谷昇さんです。

#### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は異文化交流実行陸火委です。

#### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化箏サークル「箏曲桜の会」をご紹介します。

#### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。

#### 第3回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

#### 大田の顔 キラリ

木彫り一筋58年、現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。

#### 我に一芸あり

ユニークな学校を紹介するこのコーナー、今月は蒲田女子高校をご紹介します。授業に保育実習があるんですよ。

### ■魅力がいっぱい バレエのワークショップ

音楽に合わせて第1回「白鳥の湖」、第2回「黒鳥の湖」を体験

□開催日時:2月4日(日)、4月22日(日)14:00~16:00

□会場:多目的室 □定員:抽選で各80名 □参加費:各回1,500円(小中学生1,000円、保護者と子どもはセットで1,500円)

□申込:第1回 1月15日必着、第2回 3月25日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■フィンランドと日本の異文化交流～シベリウスの音楽とカンテレの演奏

展示コーナーではフィンランドと日本の文化を紹介

□開催日時:2月11日(日)開演13:30(開場13:00) □会場:大田文化の森ホール□チケット:1,000円(未就学児不可)、大田文化の森にて発売中 □展示コーナー:2月11日・12日10:00~16:00

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■大田文化の森落語会季節寄席<春>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」出演は、春風亭朝之助他

□開催日時:3月3日(土)15:00~18:00

□会場:大田文化の森ホール

□チケット:前売500円、当日700円

大田文化の森にて2月1日10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■文化のたねまき祭

運営協議会の1年間の活動報告と将来の展望を発表し、併せて第2期3年間の報告会を兼ねたイベント

□開催日時:3月10日(土)13:30~19:00

□会場:多目的室他 17:00~多目的室にて交流会があります。参加費:500円(どなたでも参加可)

[※詳細は特集ページをご覧ください。※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■演劇公演「すずなり商店街奮戦記シリーズPART IV」

小学生から70代のご婦人まで広い年齢層の区民が参加する演劇公演

□開催日時:3月23日(金)19:30~、3月24日(土)14:00~と18:00~ □会場:大田文化の森ホール □チケット:2,000円(中学生以下1,000円)、大田文化の森にて2月13日10:00から発売(当日券2,200円、中学生以下1,000円)[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■子育て中の皆様応援! 弦楽四重奏コンサート(無料託児付)

□開催日時:4月8日(日)午後2時~3時

□定員:抽選で250名 無料託児抽選で30名(4歳未満) □参加費:500円(中学生以上、4歳から小学生は無料)

□申込:3月18日必着(託児希望の有無・参加希望者全員の氏名・年齢を明記)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

## 体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

### ■わくわく子ども科学の森~びりりん 静電気のしくみと静電気実験を行う

□開催日時:1月27日(土)9:30~11:30□会場:3階美術室 □定員:抽選で30名(小学生) □参加費:無料 □申込:1月15日必着

### ■わくわく子ども科学の森~音であそぼう

音の世界の体験と音と振動の実験を行う

□開催日時:2月3日(土)9:30~11:30 □会場:3階美術室 □定員:抽選で30名(小学生) □参加費:無料 □申込:1月22日必着

### ■一から始めるパソコン教室

パソコンのスイッチを入れるところから始める、まったくの初心者のための講座

□開催日時:2月19・26日、3月5・12・19日(各月)19:30~21:30 □会場:2階マルチメディアコーナー □定員:抽選で20名 □参加費:5,000円(別途テキスト代1,000円) □申込:2月5日必着

### ■ひな祭りに手作り和菓子でお茶を楽しもう!

親子で和菓子を作り、お点前をいただく

□開催日時:2月25日(日)13:00~15:00□会場:3階調理室・和室 □定員:抽選で14組

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 例でもあり

寒い冬だからこそ外に出ているいろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

## 申し込み・問合せ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

■受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

(小学生と保護者) □参加費:700円 □申込:2月16日必着

■何ができるかな? どんぐりの変身!

自然の素材(どんぐり)を使って、子どもたちの創造性を育む

□開催日時:3月3日(土)13:00~16:00

□会場:3階工芸室 □定員:抽選で30名(小学生) □参加費:200円 □申込:2月19日必着

 **生活・心に役立つ講座** 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■文化ボランティア養成講座II

□開催日時:2月3日・17日(各土)13:00~16:00 □会場:4階第3集会室 □定員:抽選で30名 □参加費:1,500円 □申込:1月22日必着

■耀く文士村8~森の文学館「山本周五郎を読む」

□開催日時:2月18日(日)13:30~15:00

□会場:4階第3・4集会室 □定員:抽選で65名 □参加費:300円 □申込:2月9日必着

■「心と身体 の健康づくり講座」~リラクゼーション・自律訓練法~

健康心理学を学習し、その対処法の1つである「自立訓練法」を体得する

□開催日時:2月24日、3月3日(各土)

13:30~16:00 □会場:4階第3・4集会室 □定員:抽選で50名 □参加費:1回500円 □申込:2月15日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■文化の森ガーデニング講習会(第3回)

春の花の寄せ植えを気軽に楽しむ

□開催日時:3月4日(日)10:00~12:00 □会場:3階工芸室 □定員:抽選で30名(小学生以上) □参加費:1,000円

□申込:2月20日必着

■耀く文士村9~森の文学館隣の住人・萩原朔太郎

子どもの頃、隣に住んでいた萩原朔太郎の思い出を内田正雄氏が語る

□開催日時:3月18日(日)13:30~15:00

□会場:4階第3・4集会室 □定員:抽選で65名 □参加費:300円 □申込:3月9日必着

■軽度発達障害児が作る料理教室

料理作りを通して軽度発達障害児の社会性や能力を高め、脳を活性化する

□開催日時:3月17日(土)10:00~14:00

□会場:3階調理室・第1集会室・和室

□定員:抽選で14組(軽度発達障害児と保護者) □参加費:2,000円 □申込:3月7日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■田舎暮らし

~野菜たち、鶏たちと共に生きる

安全な野菜作りを目指し、試行錯誤を繰り返しての田舎生活の写真記録展

□開催日時:3月22日(木)~26日(月)9:00~17:00(初日は12:00~、最終日は15:00まで) □会場:1階展示コーナー

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

# おおた文化の森

## おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化支援のための中心施設です。大田区政の基本方針「おおたプラン2015」には、以下のように記されています。1.文化創造の拠点、2.区民による自主運営、3.より利用しやすく親しみのもてる施設

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「直接企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募による事業」の2種類があります。管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

- 企画の実施
  - 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会またはサポートチームに参画する
  - 2.s「公募による事業」に応募する
- ボランティアとして参画
  - 文化プレーヤーに登録して希望の活動をする

### 大田文化の森 アクセス情報



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より  
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より  
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)  
東急バス大井町行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局  
〒143-0024 大田区中央2-10-1  
電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

## 特集

3月10日 文化の「たねまき祭」迫る  
～世代をつなぐ幸せづくり～

文化の「収穫祭」終わる  
～文化の出会い 広がる輪～

## 読み応えのあるコラムが自慢!

### 元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は柴谷昇さんです。

### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は異文化交流実行陸火委です。

### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。大好評の「季節寄席」と水墨画サークル「竹翠会」、文化箏サークル「箏曲桜の会」をご紹介します。

### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月は大森駅近くの「入新井公園」をご紹介します。

### 第3回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

### 大田の顔 キラリ

木彫り一筋58年、現代の隠れた名工である塚原忠雄さんをご紹介します。皆さんもよくご存じの場所の彫刻なども手がけています。

### 我に一芸あり

ユニークな学校を紹介するこのコーナー、今月は蒲田女子高校をご紹介します。授業に保育実習があるんですよ。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 例でもあり

寒い冬だからこそ外に出ているいろいろなことを体験してみませんか。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 申し込み・問合せ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

■受付終了後も、定員に余裕がある場合は随時受け付けております。

お気軽に運営協議会事務局までお問合せ下さい。

## 大田文化の森Vol.22Web版

2007年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

